

令和元年度

名寄市公営企業会計
決算審査意見書

名寄市病院事業会計
名寄市水道事業会計

名寄市監査委員

名監査第 12 号

令和2年8月28日

名寄市長 加藤 剛 士 様

名寄市監査委員 鹿野 裕 二

名寄市監査委員 黒井 徹

令和元年度名寄市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により審査に付された、令和元年度名寄市公営企業会計決算について審査した結果、次のとおり意見を提出します。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法及び範囲	1
第4	審査の結果	1

名寄市病院事業会計

1	事業概況	2
2	予算の執行状況	2
3	経営状況	4
4	むすび	9
5	資料	
	別表(1) 業務実績表	10
	別表(2) 比較貸借対照表	12
	別表(3) 比較損益計算書	15
	別表(4) キャッシュ・フロー計算書内訳	16
	別表(5) 経営・財務分析表	17

名寄市水道事業会計

1	事業概況	21
2	予算の執行状況	21
3	経営状況	22
4	むすび	26
5	資料	
	別表(1) 業務の概要	27
	別表(2) 比較貸借対照表	28
	別表(3) 比較損益計算書	30
	別表(4) キャッシュ・フロー計算書内訳	31
	別表(5) 経営・財務分析表	32

(注) 文中及び各表中の比率等の用法は、次のとおりである。

- (1) 比率(%)：原則として、小数点以下第2位を四捨五入している。
- (2) 「0.0」：「該当数値はあるが、0.05未満のもの」を表している。
- (3) 「-」：「該当数値なし」及び「算出不能または無意味なもの」を表している。
- (4) 上記のように処理した結果、文中及び各表中の数値とその内容の累計値とは一致しない場合がある。

第1 審査の対象

令和元年度 名寄市病院事業会計決算

令和元年度 名寄市水道事業会計決算

第2 審査の期間

令和2年6月17日から同年8月24日まで

第3 審査の方法及び範囲

決算審査に当たっては、審査に付された決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類が、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されているか、これらの決算諸表が各事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているか確かめるとともに、会計帳簿、証拠書類及びその他関係書類を照合し、計数の審査を行い、併せて事業の経営成績及び財政状態を分析し、さらには予算の執行状況と事務処理の適否等について審査した。

なお、現金預金及び関連する証書類については、地方自治法第235条の2の規定に基づき、別に例月現金出納検査時において実施したので本審査の対象外とした。

第4 審査の結果

審査に付された各事業会計の決算報告書及び財務諸表並びに決算付属書類は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成されており、当年度の経営成績及び当年度末現在の財政状態を適正に表示しているものと認めた。また、諸計数は正確であり、予算の執行状況も適切であると認めた。

令和元年度名寄市病院事業会計

1 事業概況（税抜き）

令和元年度の名寄市病院事業会計のうち、市立総合病院の業務実績をみると、年間患者数は入院 98,183 人、外来 226,707 人、合計 324,890 人となり前年度比で、入院 469 人減、外来 2,282 人減、合計 2,751 人減少した。医業収益の総額は、90 億 1,263 万 1,977 円、医業費用の総額は 94 億 3,108 万 5,696 円となった。病院事業収支では、収益が 98 億 3,419 万 8,813 円、費用が 98 億 5,857 万 5,312 円となり 2,437 万 6,499 円の純損失を計上した。

一方、名寄東病院においては、年間患者数は入院 26,940 人、外来 5,698 人、合計 32,638 人となり前年度比で、入院 78 人減、外来 241 人増となり、合計 163 人増加した。医業収益の総額は 4 億 3,272 万 9,651 円、医業費用の総額は 6 億 1,466 万 4,993 円となった。

病院事業収支では、収益が 6 億 3,671 万 2,757 円、費用が 6 億 2,926 万 5,108 円となり、744 万 7,649 円の純利益を計上した。

2 予算の執行状況

(1) 市立総合病院

ア 収益的収支の状況（税込）

収益的収入の決算額は 98 億 5,855 万 352 円となり、予算に対する執行率は 100.3%である。収益的支出の決算額は 98 億 7,942 万 6,468 円となり、予算に対する執行率は 99.7%である。

収益的収支の差引額は△2,087 万 6,116 円となり、前年度の 1,172 万 2,546 円に比べ、3,259 万 8,662 円減少した。

【収益的収入】

(単位：円・%)

科 目	予算現額	決 算 額	予算現額に対する決算額増減	執行率	30 年度決算額
医 業 収 益	9,033,358,000	9,023,597,121	△9,760,879	99.9	8,958,922,505
医 業 外 収 益	724,054,000	761,618,812	37,564,812	105.2	748,300,751
特 別 利 益	73,324,000	73,334,419	10,419	100.0	104,944,403
合 計	9,830,736,000	9,858,550,352	27,814,352	100.3	9,812,167,659

【収益的支出】

(単位：円・%)

科 目	予算現額	決 算 額	不 用 額	執行率	30 年度決算額
医 業 費 用	9,661,853,000	9,639,182,863	22,670,137	99.8	9,490,228,359
医 業 外 費 用	230,876,000	221,618,220	9,257,780	96.0	234,124,990
特 別 損 失	18,626,000	18,625,385	615	100.0	76,091,764
合 計	9,911,355,000	9,879,426,468	31,928,532	99.7	9,800,445,113

イ 資本的収支の状況（税込）

資本的収入の決算額は 6 億 5,935 万 8,390 円となり、予算に対する執行率は 98.5%である。資本的支出の決算額は 11 億 3,832 万 3,116 円となり、予算に対する執行率は 96.5%であり、資本的収支は支出が収入を 4 億 7,896 万 4,726 円上回っている。

【資本的収入】

(単位：円・%)

科 目	予算現額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執行率
企 業 債	227,400,000	227,900,000	500,000	100.2
寄 附 金	327,000	327,390	390	100.1
償 還 金	9,420,000	10,895,000	1,475,000	115.7
出 資 金	412,400,000	400,236,000	△12,164,000	97.1
負 担 金	20,000,000	20,000,000	0	100.0
道 補 助 金	0	0	0	—
国 庫 補 助 金	0	0	0	—
合 計	669,547,000	659,358,390	△10,188,610	98.5

【資本的支出】

(単位：円・%)

科 目	予算現額	決 算 額	不 用 額	執行率
建 設 改 良 費	278,893,000	237,349,139	41,543,861	85.1
償 還 金	855,524,000	855,523,977	23	100.0
投 資	45,660,000	45,450,000	210,000	99.5
合 計	1,180,077,000	1,138,323,116	41,753,884	96.5

(2) 東病院

ア 収益的収支の状況(税込)

収益的収入の決算額は6億3,763万9,961円となり、予算に対する執行率は99.8%である。収益的支出の決算額は6億3,017万5,834円となり、予算に対する執行率は98.6%である。収益的収支の差引額は746万4,127円となり、前年度の11万1,062円に比べ、735万3,065円増加した。

【収益的収入】

(単位：円・%)

科 目	予算現額	決 算 額	予算現額に対する 決算額の増減	執行率	30年度決算額
医 業 収 益	434,845,000	433,542,830	△1,302,170	99.7	437,638,838
医 業 外 収 益	204,038,000	204,097,131	59,131	100.0	208,204,368
特 別 利 益	0	0	0	—	0
合 計	638,883,000	637,639,961	△1,243,039	99.8	645,843,206

【収益的支出】

(単位：円・%)

科 目	予算現額	決 算 額	不 用 額	執行率	30年度決算額
医 業 費 用	637,471,000	628,781,140	8,689,860	98.6	642,008,230
医 業 外 費 用	1,412,000	1,394,694	17,306	98.8	3,723,914
特 別 損 失	0	0	0	—	0
合 計	638,883,000	630,175,834	8,707,166	98.6	645,732,144

イ 資本的収支の状況(税込)

資本的収入の決算額は970万円となり、予算に対する執行率は100.0%である。資本的支出の決算額は3,470万5,336円となっており、予算に対する執行率は100.0%であり、資本的収支は、支出が収入を2,500万5,336円上回った。

【資本的収入】 (単位：円・%)

科 目	予算現額	決 算 額	予算現額に対する決算額の増減	執行率
企 業 債	9,700,000	9,700,000	0	100.0
合 計	9,700,000	9,700,000	0	100.0

(注：東病院の資本的収入は全額が企業債である。)

【資本的支出】 (単位：円・%)

科 目	予算現額	決 算 額	不 用 額	執行率
建 設 改 良 費	9,720,000	9,720,000	0	100.0
償 還 金	24,986,000	24,985,336	664	100.0
投 資	0	0	0	—
合 計	34,706,000	34,705,336	664	100.0

3 経営状況 【別表(2)(3)(4)参照】

(1) 市立総合病院

ア 収 益 (税抜き)

令和元年度の病院事業収益は、医業収益では前年度比0.7%増の90億1,263万1,977円、医業外収益では前年度比1.5%増の7億4,823万2,417円、特別利益では前年度比30.1%減の7,333万4,419円、総収益は前年比0.4%増の98億3,419万8,813円であった。

医業収益は、入院収益が前年度比0.8%減の59億5,003万8,232円、外来収益が前年度比4.7%増の25億6,343万8,644円、他会計負担金3億4,865万円、その他医業収益1億5,050万5,101円となった。

医業外収益は、他会計負担金2億8,326万6千円、他会計補助金1億5,685万5千円、負担金交付金9,945万4,814円が主なものである。

【収益内訳比較表】 (単位：円・%)

区 分	元年度	30年度	比 較	前年度比
医 業 収 益	9,012,631,977	8,948,714,943	63,917,034	0.7
入 院 収 益	5,950,038,232	5,997,193,062	△47,154,830	△0.8
外 来 収 益	2,563,438,644	2,447,274,863	116,163,781	4.7
他 会 計 負 担 金	348,650,000	342,651,000	5,999,000	1.8
そ の 他 医 業 収 益	150,505,101	161,596,018	△11,090,917	△6.9
医 業 外 収 益	748,232,417	737,425,926	10,806,491	1.5
受 取 利 息 配 当 金	52	52	0	—
他 会 計 補 助 金	156,855,000	135,882,000	20,973,000	15.4
他 会 計 負 担 金	283,266,000	287,014,000	△3,748,000	△1.3
そ の 他 医 業 外 収 益	45,707,800	45,434,103	273,697	0.6
補 助 金	89,511,529	95,666,090	△6,154,561	△6.4
受 託 料	9,146,571	9,370,427	△223,856	△2.4
負 担 金 交 付 金	99,454,814	91,557,090	7,897,724	8.6
保 育 施 設 収 益	16,010,377	17,266,183	△1,255,806	△7.3
長 期 前 受 金 戻 入	48,280,274	55,235,981	△6,955,707	△12.6
特 別 利 益	73,334,419	104,944,403	△31,609,984	△30.1
総 収 益	9,834,198,813	9,791,085,272	43,113,541	0.4

イ 費用（税抜き）

令和元年度の病院事業費用は、医業費用では94億3,108万5,696円、医業外費用では4億894万7,135円、特別損失では1,854万2,481円、合計98億5,857万5,312円となり、前年度比0.8%増となった。

医業費用は、給与費53億7,667万3,291円、材料費25億792万8,292円、経費9億3,473万3,046円、減価償却費5億6,361万3,755円が主なものである。医業外費用は、雑支出3億1,382万9,074円が主なものである。

【費用内訳比較表】

(単位：円・%)

区 分	元年度	30年度	比 較	前年度比
医 業 費 用	9,431,085,696	9,300,558,147	130,527,549	1.4
給 与 費	5,376,673,291	5,262,969,960	113,703,331	2.2
材 料 費	2,507,928,292	2,516,398,388	△8,470,096	△0.3
経 費	934,733,046	927,679,029	7,054,017	0.8
減 価 償 却 費	563,613,755	500,860,443	62,753,312	12.5
資 産 減 耗 費	5,271,137	49,065,913	△43,794,776	△89.3
交 際 費	1,492,102	2,850,487	△1,358,385	△47.7
研 究 研 修 費	41,374,073	40,733,927	640,146	1.6
医 業 外 費 用	408,947,135	406,496,181	2,450,954	0.6
支払利息及び企業債取扱諸費	50,391,388	56,576,188	△6,184,800	△10.9
保 育 施 設 費	44,726,673	43,204,710	1,521,963	3.5
雑 支 出	313,829,074	306,715,283	7,113,791	2.3
特 別 損 失	18,542,481	76,089,853	△57,547,372	△75.6
総 費 用	9,858,575,312	9,783,144,181	75,431,131	0.8

ウ 収 支

(単位：円)

	元年度	30年度	増減
当年度純利益	△24,376,499	7,941,091	△32,317,590

エ 財務状況

【資産、負債・資本比較表】

(単位：円・%)

区 分	元年度	30年度	比 較	前年度比
資 産	10,449,736,415	10,992,724,507	△542,988,092	△4.9
固 定 資 産	8,729,651,397	9,068,346,122	△338,694,725	△3.7
流 動 資 産	1,720,085,018	1,924,378,385	△204,293,367	△10.6
負 債 ・ 資 本	10,449,736,415	10,992,724,507	△542,988,092	△4.9
固 定 負 債	5,670,192,044	6,332,237,712	△662,045,668	△10.5
流 動 負 債	1,976,093,330	2,204,912,609	△228,819,279	△10.4
繰 延 収 益	1,007,503,019	1,055,485,665	△47,982,646	△4.5
資 本 金	7,114,114,362	6,713,878,362	400,236,000	6.0
剰 余 金	△5,318,166,340	△5,313,789,841	△4,376,499	0.1

資産では、流動資産が前年度比10.6%減であり、負債では、固定負債が前年度比10.5%減少し、流動負債も10.4%減少した。

【企業債】

(単位：円)

30 年度			元年度		
借入高	償還高	年度末残高	借入高	償還高	年度末残高
588,000,000	791,538,444	5,896,377,702	227,900,000	855,523,977	5,268,753,725

企業債は借入高 2 億 2,790 万円に対し、償還高 8 億 5,552 万 3,977 円であり、年度末残高は 52 億 6,875 万 3,725 円となり、前年度比で 6 億 2,762 万 3,977 円減少した。

【医療費未収金（患者負担分）】

(単位：円・%)

年度 区分	元年度			30 年度		
	現年度	過年度	合計	現年度	過年度	合計
調 定 額	876,245,933	78,123,180	954,369,113	896,483,244	100,900,392	997,383,636
収 入 済 額	811,691,013	56,074,128	867,765,141	832,903,924	77,444,951	910,348,875
収 入 率	92.63	71.78	90.93	92.91	76.75	91.27
収入未済額	64,554,920	22,049,052	86,603,972	63,579,320	23,455,441	87,034,761
不納欠損額	0	2,080,836	2,080,836	0	2,102,946	2,102,946

収入未済額は、前年度比で 43 万 789 円減少した。

経営比率

項 目	算 式	元	30	29
経営資本医業利益率(%)※1	$\frac{\text{医業利益 } \triangle 418,453,719 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 10,310,990,369 \text{ 円}} \times 100$	△4.06	△3.24	△4.16
経営資本回転率(回)※2	$\frac{\text{医業収益 } 9,012,631,977 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 10,310,990,369 \text{ 円}}$	0.87	0.82	0.83
医業収益医業利益率(%)※3	$\frac{\text{医業利益 } \triangle 418,453,719 \text{ 円}}{\text{医業収益 } 9,012,631,977 \text{ 円}} \times 100$	△4.64	△3.93	△5.04

医業利益＝医業収益－医業費用

経営資本＝総資本－（建設仮勘定＋投資＋繰延資産）

※1 投下された経営資本ともたらされた利益との比較。

※2 経営活動に使用している経営資本が効率良く収益を上げているかをみる指標。病院事業では 1.0 回転が平均となっている。

※3 本業における利益水準の指標。

(2) 東病院

ア 収 益（税抜き）

令和元年度の病院事業収益は、医業収益では前年度比 1.0%減の 4 億 3,272 万 9,651 円となり、医業外収益では前年度比 2.0%減の 2 億 398 万 3,106 円となって、総収益は、前年度比 1.3%減の 6 億 3,671 万 2,757 円となった。

このうち医業収益では入院収益が前年度比 1.1%減の 4 億 60 万 1,300 円、外来収益が前年度比 0.1%減の 2,346 万 9,488 円、その他医業収益 865 万 8,863 円であった。

医業外収益は、他会計補助金 1 億 9,366 万 1 千円、長期前受金戻入 888 万 8,821 円が主なものである。

【収益内訳比較表】

(単位：円・%)

区 分	元年度	30年度	比 較	前年度比
医 業 収 益	432,729,651	436,966,620	△4,236,969	△1.0
入 院 収 益	400,601,300	405,058,571	△4,457,271	△1.1
外 来 収 益	23,469,488	23,503,628	△34,140	△0.1
他 会 計 負 担 金	0	0	0	—
そ の 他 医 業 収 益	8,658,863	8,404,421	254,442	3.0
医 業 外 収 益	203,983,106	208,108,479	△4,125,373	△2.0
受 取 利 息 配 当 金	0	0	0	—
他 会 計 補 助 金	193,661,000	197,418,000	△3,757,000	△1.9
他 会 計 負 担 金	0	0	0	—
そ の 他 医 業 外 収 益	1,253,285	1,276,165	△22,880	△1.8
補 助 金	180,000	522,600	△342,600	△65.6
受 託 料	0	0	0	—
負 担 金 交 付 金	0	0	0	—
保 育 施 設 収 益	0	0	0	—
長 期 前 受 金 戻 入	8,888,821	8,891,714	△2,893	△0.0
特 別 利 益	0	0	0	—
総 収 益	636,712,757	645,075,099	△8,362,342	△1.3

イ 費 用 (税抜き)

令和元年度の病院事業費用は、医業費用では6億1,466万4,993円、医業外費用では1,460万115円、特別損失は0円で、合計6億2,926万5,108円となり、前年度比2.4%減となった。医業費用は、経費が前年度比3.2%減の5億7,957万752円となり、減価償却費が前年度比17.4%増の3,509万4,241円となった。

医業外費用は雑支出が主なものであり、全体で前年度比10.3%減の1,460万115円となった。

【費用内訳比較表】

(単位：円・%)

区 分	元年度	30年度	比 較	前年度比
医 業 費 用	614,664,993	628,766,606	△14,101,613	△2.2
給 与 費	0	0	0	—
材 料 費	0	0	0	—
経 費	579,570,752	598,884,621	△19,313,869	△3.2
減 価 償 却 費	35,094,241	29,881,985	5,212,256	17.4
資 産 減 耗 費	0	0	0	—
交 際 費	0	0	0	—
研 究 研 修 費	0	0	0	—
医 業 外 費 用	14,600,115	16,268,729	△1,668,614	△10.3
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	95,608	108,411	△12,803	△11.8
保 育 施 設 費	0	0	0	—
雑 支 出	14,504,507	16,160,318	△1,655,811	△10.2
特 別 損 失	0	0	0	—
総 費 用	629,265,108	645,035,335	△15,770,227	△2.4

ウ 収 支

(単位：円)

	元年度	30年度	増減
当年度純利益	7,447,649	39,764	7,407,885

エ 財務状況

【資産、負債・資本比較表】

(単位：円・%)

区 分	元年度	30年度	比 較	前年度比
資 産	724,617,348	749,632,992	△25,015,644	△3.3
固定資産	443,826,211	469,920,452	△26,094,241	△5.6
流動資産	280,791,137	279,712,540	1,078,597	0.4
負債・資本	724,617,348	749,632,992	△25,015,644	△3.3
固定負債	102,516,105	112,705,996	△10,189,891	△9.0
流動負債	20,485,455	33,870,036	△13,384,581	△39.5
繰延収益	226,953,156	235,841,977	△8,888,821	△3.8
資本金	36,503,250	36,503,250	0	—
剰余金	338,159,382	330,711,733	7,447,649	2.3

資産では、固定資産が前年度比で5.6%減少しており、負債では流動負債が前年度比で39.5%減少した。

【企業債】

(単位：円)

30年度			元年度		
借入高	償還高	年度末残高	借入高	償還高	年度末残高
44,200,000	14,948,501	137,691,332	9,700,000	24,985,336	122,405,996

企業債は借入高 970 万円に対し、償還高が 2,498 万 5,336 円であり、年度末残高は 1 億 2,240 万 5,996 円となり、前年比で 1,528 万 5,336 円減少した。

【医療費未収金（患者負担分）】

(単位：円・%)

年度 区分	元年度			30年度		
	現年度	過年度	合計	現年度	過年度	合計
調 定 額	49,794,391	4,234,562	54,028,953	47,056,266	4,261,322	51,317,588
収 入 済 額	45,049,371	3,248,150	48,297,521	43,990,386	3,574,640	47,565,026
収 入 率	90.47	76.71	89.39	93.48	83.89	92.69
収入未済額	4,745,020	986,412	5,731,432	3,065,880	686,682	3,752,562
不納欠損額	0	0	0	0	0	0

収入未済額は、前年度比で 197 万 8,870 円増加した。

経営比率

項 目	算 式	元	30	29
経営資本医業利益率(%)※1	$\frac{\text{医業利益 } \triangle 181,935,342 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 724,617,348 \text{ 円}} \times 100$	△25.11	△25.59	△18.15
経営資本回転率(回)※2	$\frac{\text{医業収益 } 432,729,651 \text{ 円}}{\text{経営資本 } 724,617,348 \text{ 円}}$	0.60	0.58	0.67
医業収益医業利益率(%)※3	$\frac{\text{医業利益 } \triangle 181,935,342 \text{ 円}}{\text{医業収益 } 432,729,651 \text{ 円}} \times 100$	△42.04	△43.89	△26.99

医業利益＝医業収益－医業費用

経営資本＝総資本－（建設仮勘定＋投資＋繰延資産）

※1 投下された経営資本ともたらされた利益との比較。

※2 経営活動に使用している経営資本が効率良く収益を上げているかをみる指標。病院事業では1.0回転が平均となっている。

※3 本業における利益水準の指標。

4 むすび

令和元年度の決算において、名寄市立総合病院では、医業収益で前年度比0.7%（6,391万7,034円）増の90億1,263万1,977円の収益を確保するなか、医業費用では、前年度比1.4%（1億3,052万7,549円）増加したが、全体として費用の伸びが抑えられた結果となった。収支では2,437万6,499円の単年度純損失を計上した。また、企業債の償還高が増加したことにより年度末残高が減少した。

平成30年度に地方公営企業法の全部適用に移行したことから安定的かつ効率的な経営を進められるよう期待する。

名寄東病院では、外来患者数が前年度比4.4%（241人）増加し、収益全体では6億3,671万2,757円となり、前年度比1.3%減となったものの、費用全体では6億2,926万5,108円で前年度比2.4%減となった。この結果、当年度純利益では、前年度比で740万7,885円増の744万7,649円を計上した。地域の慢性期医療を担う病院として、引き続き医療体制の充実と収益の確保に努めていただきたい。

病院事業においては、「新名寄市病院事業改革プラン（平成28年～令和2年度）」の着実な推進により、課題に対応した病院運営を進め、地域医療を守るため医療体制の確保と充実に努めていただきたい。

別表(1)

業 務 実 績 表

市立総合病院 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

1 患者数

ア 年間患者数

(単位：人・%)

区 分	元年度 A	30年度 B	増 減 A-B	前年度比 A/B	29年度	28年度
入 院	98,183	98,652	△469	99.5	102,218	101,963
一 般 科	80,214	81,733	△1,519	98.1	83,769	82,975
精 神 科	17,965	16,919	1,046	106.2	18,449	18,988
感 染 症	4	0	4	—	0	0
外 来	226,707	228,989	△2,282	99.0	222,948	224,953
一 般 科	192,805	195,289	△2,484	98.7	191,870	195,117
精 神 科	33,902	33,700	202	100.6	31,078	29,836

イ 1日当たり平均患者数 (年間患者数 アを診療日数366日で除した値)

(単位：人・%)

区 分	元年度 A	30年度 B	増 減 A-B	前年度比 A/B	29年度	28年度
入 院	268.3	270.3	△2.0	99.3	280.0	279.3
一 般 科	219.2	223.9	△4.7	97.9	229.5	227.3
精 神 科	49.1	46.4	2.7	105.8	50.5	52.0
感 染 症	0.0	0.0	—	—	0.0	0.0
外 来	940.7	942.4	△1.7	99.8	917.5	925.8
一 般 科	800.0	803.7	△3.7	99.5	789.6	803.0
精 神 科	140.7	138.7	2.0	101.4	127.9	122.8

2 患者1人1日当たり医業収益

(単位：円・%)

区 分	元年度 A	30年度 B	増 減 A-B	前年度比 A/B	29年度	28年度
入 院 ※1	60,602	60,791	△189	99.7	57,762	55,720
外 来 ※2	11,307	10,687	620	105.8	10,174	9,878

※1 入院収益÷年間入院患者数、※2 外来収益÷年間外来患者数

3 病床利用率 (1日当たり平均患者数 イを病床数で除した値)

(単位：%)

区 分	元年度 A	30年度 B	対前年度比 A-B	29年度	28年度
入 院	74.7	75.3	-0.6	78.0	77.8
一 般 科 (300床)	73.1	74.6	-1.5	76.5	75.8
精 神 科 (55床)	89.2	84.3	4.9	91.9	94.6
感 染 症 (4床)	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0

※()内は許可病床数

東 病 院

(平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日)

1 患者数

ア 年間患者数

(単位：人・%)

区 分	元年度 A	30 年度 B	増 減 A-B	対前年度比 A/B	29 年度	28 年度
入 院	26,940	27,018	△78	99.7	31,850	35,224
医療療養病床	26,940	27,018	△78	99.7	31,850	35,224
外 来	5,698	5,457	241	104.4	5,179	4,018
内 科	5,436	5,324	112	102.1	5,090	3,943
脳神経外科	3	8	△5	37.5	0	1
リハビリ科	259	125	134	207.2	89	74

イ 1日当たり平均患者数 (年間患者数 アを診療日数 366 日で除した値)

(単位：人・%)

区 分	元年度 A	30 年度 B	増 減 A-B	対前年度比 A/B	29 年度	28 年度
入 院	73.6	74.0	△0.4	99.5	87.3	96.5
医療療養病床	73.6	74.0	△0.4	99.5	87.3	96.5
外 来	23.7	22.4	1.3	105.8	21.3	16.5
内 科	22.6	21.9	0.7	103.2	20.9	16.2
脳神経外科	0.0	0.0	0.0	—	0.0	0.0
リハビリ科	1.1	0.5	0.6	220.0	0.4	0.3

2 患者 1 人 1 日当たり医業収益額

(単位：円・%)

区 分	元年度 A	30 年度 B	増 減 A-B	対前年度比 A/B	29 年度	28 年度
入 院 ※1	14,870	14,992	△122	99.2	14,302	14,738
外 来 ※2	4,119	4,307	△188	95.6	4,355	4,274

※1 入院収益÷年間入院患者数、※2 外来収益÷年間外来患者数

3 病床利用率 (1日当たり平均患者数 イを病床数で除した値)

(単位：%)

区 分	元年度 A	30 年度 B	対前年度比 A-B	29 年度	28 年度
医療療養病床 (105 床)	70.1	70.5	-0.4	83.1	91.9

※() 内は許可病床数

比較貸借対照表

(単位：円・%)

科 目		借					方				対前年度増減額	
		令和元年度					平成30年度				対前年度増減額	
		市立総合病院		東病院		合計	市立総合病院		東病院		市立総合病院	東病院
		金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	構成比	金額	構成比	金額	
資 産 の 部	固定資産	8,729,651,397	83.5	443,826,211	61.2	9,173,477,608	9,068,346,122	82.5	469,920,452	62.7	△ 338,694,725	△ 26,094,241
	有形固定資産	8,577,257,073	82.1	441,152,575	60.9	9,018,409,648	8,915,162,289	81.1	462,434,268	61.7	△ 337,905,216	△ 21,281,693
	土地	696,521,657	6.7	112,000,000	15.5	808,521,657	696,521,657	6.3	112,000,000	14.9	0	0
	建築物	6,377,392,261	61.0	231,426,577	31.9	6,608,818,838	6,595,093,051	60.0	240,706,891	32.1	△ 217,700,790	△ 9,280,314
	構築物	160,996,240	1.5	0	—	160,996,240	179,922,156	1.6	0	—	△ 18,925,916	0
	機器備品	1,334,817,161	12.8	97,713,119	13.5	1,432,530,280	1,432,506,472	13.0	109,714,498	14.6	△ 97,689,311	△ 12,001,379
	車両	2,354,614	0.0	12,879	0.0	2,367,493	3,385,737	0.0	12,879	0.0	△ 1,031,123	0
	リース資産	5,175,140	0.0	0	—	5,175,140	7,733,216	0.1	0	—	△ 2,558,076	0
	建設仮勘定	0	—	0	—	0	0	—	0	—	0	0
	無形固定資産	13,648,278	0.1	2,673,636	0.4	16,321,914	22,450,833	0.2	7,486,184	1.0	△ 8,802,555	△ 4,812,548
	ソフトウェア	13,648,278	0.1	2,673,636	0.4	16,321,914	22,450,833	0.2	7,486,184	1.0	△ 8,802,555	△ 4,812,548
	投資	138,746,046	1.3	0	—	138,746,046	130,733,000	1.2	0	—	8,013,046	0
	長期貸付金	138,746,046	1.3	0	—	138,746,046	130,733,000	1.2	0	—	8,013,046	0
	流動資産	1,720,085,018	16.5	280,791,137	38.8	2,000,876,155	1,924,378,385	17.5	279,712,540	37.3	△ 204,293,367	1,078,597
	現金及び預金	208,945,684	2.0	194,506,656	26.8	403,452,340	513,872,677	4.7	133,307,356	17.8	△ 304,926,993	61,199,300
未収金	1,483,603,824	14.2	86,284,481	11.9	1,569,888,305	1,382,975,350	12.6	146,405,184	19.5	100,628,474	△ 60,120,703	
有価証券	500,000	0.0	0	—	500,000	500,000	0.0	0	—	0	0	
貯蔵品	27,035,510	0.3	0	—	27,035,510	27,030,358	0.2	0	—	5,152	0	
資産合計	10,449,736,415	100.0	724,617,348	100.0	11,174,353,763	10,992,724,507	100.0	749,632,992	100.0	△ 542,988,092	△ 25,015,644	

(単位：円・%)

科 目		貸 方											
		令和元年度					平成30年度					対前年度増減額	
		市立総合病院		東病院		合計	市立総合病院		東病院		市立総合病院	東病院	
金額		構成比	金額		構成比	金額		構成比	金額		金額		
負 部 債	固 定 負 債	5,670,192,044	54.3	102,516,105	14.1	5,772,708,149	6,332,237,712	57.6	112,705,996	15.0	△ 662,045,668	△ 10,189,891	
	企 業 債	4,385,494,393	42.0	102,516,105	14.1	4,488,010,498	5,041,338,726	45.9	112,705,996	15.0	△ 655,844,333	△ 10,189,891	
	建設改良の財源に充てるための企業債	4,297,509,454	41.1	102,516,105	14.1	4,400,025,559	4,938,458,732	44.9	112,705,996	15.0	△ 640,949,278	△ 10,189,891	
	その他の企業債	87,984,939	0.8	0	—	87,984,939	102,879,994	0.9	0	—	△ 14,895,055	0	
	リ ー ス 債 務	823,405	0.0	0	—	823,405	1,612,830	0.0	0	—	△ 789,425	0	
	引 当 金	1,283,874,246	12.3	0	—	1,283,874,246	1,289,286,156	11.7	0	—	△ 5,411,910	0	
	退職給付引当金	1,283,874,246	12.3	0	—	1,283,874,246	1,289,286,156	11.7	0	—	△ 5,411,910	0	
	流 動 負 債	1,976,093,330	18.9	20,485,455	2.8	1,996,578,785	2,204,912,609	20.1	33,870,036	4.5	△ 228,819,279	△ 13,384,581	
	一 時 借 入 金	300,000,000	2.9	0	—	300,000,000	0	—	0	—	300,000,000	0	
	企 業 債	883,259,332	8.5	19,889,891	2.7	903,149,223	855,038,976	7.8	24,985,336	3.3	28,220,356	△ 5,095,445	
	建設改良の財源に充てるための企業債	868,364,277	8.3	19,889,891	2.7	888,254,168	840,653,555	7.6	24,985,336	3.3	27,710,722	△ 5,095,445	
	その他の企業債	14,895,055	0.1	0	—	14,895,055	14,385,421	0.1	0	—	509,634	0	
	リ ー ス 債 務	789,425	0.0	0	—	789,425	756,820	0.0	0	—	32,605	0	
	未 払 金	470,867,320	4.5	595,564	0.1	471,462,884	948,754,000	8.6	8,884,700	1.2	△ 477,886,680	△ 8,289,136	
	引 当 金	281,795,553	2.7	0	—	281,795,553	290,723,538	2.6	0	—	△ 8,927,985	0	
	賞 与 引 当 金	232,241,966	2.2	0	—	232,241,966	243,539,494	2.2	0	—	△ 11,297,528	0	
	法定福利費引当金	49,553,587	0.5	0	—	49,553,587	47,184,044	0.4	0	—	2,369,543	0	
	預 り 金	39,381,700	0.4	0	—	39,381,700	109,639,275	1.0	0	—	△ 70,257,575	0	
	繰 延 収 益	1,007,503,019	9.6	226,953,156	31.3	1,234,456,175	1,055,485,665	9.6	235,841,977	31.5	△ 47,982,646	△ 8,888,821	
	長 期 前 受 金	1,007,503,019	9.6	226,953,156	31.3	1,234,456,175	1,055,485,665	9.6	235,841,977	31.5	△ 47,982,646	△ 8,888,821	
受贈財産評価額	374,910	0.0	224,752,358	31.0	225,127,268	582,288	0.0	233,304,381	31.1	△ 207,378	△ 8,552,023		
寄 附 金	5,846,042	0.1	0	—	5,846,042	6,517,584	0.1	0	—	△ 671,542	0		
補 助 金	656,095,431	6.3	2,200,798	0.3	658,296,229	688,433,160	6.3	2,537,596	0.3	△ 32,337,729	△ 336,798		
他 会 計 負 担 金	345,186,636	3.3	0	—	345,186,636	359,952,633	3.3	0	—	△ 14,765,997	0		
負 債 合 計	8,653,788,393	82.8	349,954,716	48.3	9,003,743,109	9,592,635,986	87.3	382,418,009	51.0	△ 938,847,593	△ 32,463,293		

資 本 の 部	資 本 金	7,114,114,362	68.1	36,503,250	5.0	7,150,617,612	6,713,878,362	61.1	36,503,250	4.9	400,236,000	0
	自 己 資 本 金	7,114,114,362	68.1	36,503,250	5.0	7,150,617,612	6,713,878,362	61.1	36,503,250	4.9	400,236,000	0
	固 有 資 本 金	16,135,320	0.2	0	—	16,135,320	16,135,320	0.1	0	—	0	0
	繰 入 資 本 金	6,911,927,000	66.1	36,503,250	5.0	6,948,430,250	6,511,691,000	59.2	36,503,250	4.9	400,236,000	0
	組 入 資 本 金	186,052,042	1.8	0	—	186,052,042	186,052,042	1.7	0	—	0	0
	剰 余 金	△ 5,318,166,340	△ 50.9	338,159,382	46.7	△ 4,980,006,958	△ 5,313,789,841	△ 48.3	330,711,733	44.1	△ 4,376,499	7,447,649
	資 本 剰 余 金	469,132,934	4.5	112,200,000	15.5	581,332,934	449,132,934	4.1	112,200,000	15.0	20,000,000	0
	受 贈 財 産 評 価 額	48,102,593	0.5	112,000,000	15.5	160,102,593	48,102,593	0.4	112,000,000	14.9	0	0
	寄 附 金	19,243,533	0.2	200,000	0.0	19,443,533	19,243,533	0.2	200,000	0.0	0	0
	補 助 金	61,529,201	0.6	0	—	61,529,201	61,529,201	0.6	0	—	0	0
	他 会 計 負 担 金	340,257,607	3.3	0	—	340,257,607	320,257,607	2.9	0	—	20,000,000	0
	当 年 度 未 処 理 欠 損 金	5,787,299,274	55.4	△ 225,959,382	△ 31.2	5,561,339,892	5,762,922,775	52.4	△ 218,511,733	△ 29.1	24,376,499	△ 7,447,649
	前 年 度 繰 越 欠 損 金	5,762,922,775	55.1	△ 218,511,733	△ 30.2	5,544,411,042	5,770,863,866	52.5	△ 218,471,969	△ 29.1	△ 7,941,091	△ 39,764
	当 年 度 純 利 益 (△ 当 年 度 純 損 失)	△ 24,376,499	△ 0.2	7,447,649	1.0	△ 16,928,850	7,941,091	0.1	39,764	0.0	△ 32,317,590	7,407,885
	資 本 合 計	1,795,948,022	17.2	374,662,632	51.7	2,170,610,654	1,400,088,521	12.7	367,214,983	49.0	395,859,501	7,447,649
負 債 ・ 資 本 合 計	10,449,736,415	100.0	724,617,348	100.0	11,174,353,763	10,992,724,507	100.0	749,632,992	100.0	△ 542,988,092	△ 25,015,644	

別表(3)

比較損益計算書 (税抜き)

(単位:円・%)

科 目	令和元年度						平成30年度		対前年度増減額
	市立総合病院		東病院		合計		合計		
	金額	対医業 収益比	金額	対医業 収益比	金額	対医業 収益比	金額	対医業 収益比	
医 業 収 益	9,012,631,977	100.0	432,729,651	100.0	9,445,361,628	100.0	9,385,681,563	100.0	59,680,065
入院収益	5,950,038,232	66.0	400,601,300	92.6	6,350,639,532	67.2	6,402,251,633	68.2	△ 51,612,101
外来収益	2,563,438,644	28.4	23,469,488	5.4	2,586,908,132	27.4	2,470,778,491	26.3	116,129,641
他会計負担金	348,650,000	3.9	0	—	348,650,000	3.7	342,651,000	3.7	5,999,000
その他医業収益	150,505,101	1.7	8,658,863	2.0	159,163,964	1.7	170,000,439	1.8	△ 10,836,475
医 業 費 用	9,431,085,696	104.6	614,664,993	142.0	10,045,750,689	106.4	9,929,324,753	105.8	116,425,936
給与費	5,376,673,291	59.7	0	—	5,376,673,291	56.9	5,262,969,960	56.1	113,703,331
材料費	2,507,928,292	27.8	0	—	2,507,928,292	26.6	2,516,398,388	26.8	△ 8,470,096
経費	934,733,046	10.4	579,570,752	133.9	1,514,303,798	16.0	1,526,563,650	16.3	△ 12,259,852
減価償却費	563,613,755	6.3	35,094,241	8.1	598,707,996	6.3	530,742,428	5.7	67,965,568
資産減耗費	5,271,137	0.1	0	—	5,271,137	0.1	49,065,913	0.5	△ 43,794,776
交際費	1,492,102	0.0	0	—	1,492,102	0.0	2,850,487	0.0	△ 1,358,385
研究研修費	41,374,073	0.5	0	—	41,374,073	0.4	40,733,927	0.4	640,146
医 業 損 失	418,453,719	/	181,935,342	/	600,389,061	/	543,643,190	/	56,745,871
医 業 外 収 益	748,232,417	8.3	203,983,106	47.1	952,215,523	10.1	945,534,405	10.1	6,681,118
受取利息配当金	52	0.0	0	—	52	0.0	52	0.0	0
他会計補助金	156,855,000	1.7	193,661,000	44.8	350,516,000	3.7	333,300,000	3.6	17,216,000
他会計負担金	283,266,000	3.1	0	—	283,266,000	3.0	287,014,000	3.1	△ 3,748,000
その他医業外収益	45,707,800	0.5	1,253,285	0.3	46,961,085	0.5	46,710,268	0.5	250,817
補助金	89,511,529	1.0	180,000	0.0	89,691,529	0.9	96,188,690	1.0	△ 6,497,161
受託料	9,146,571	0.1	0	—	9,146,571	0.1	9,370,427	0.1	△ 223,856
負担金交付金	99,454,814	1.1	0	—	99,454,814	1.1	91,557,090	1.0	7,897,724
保育施設収益	16,010,377	0.2	0	—	16,010,377	0.2	17,266,183	0.2	△ 1,255,806
長期前受金戻入	48,280,274	0.5	8,888,821	2.1	57,169,095	0.6	64,127,695	0.7	△ 6,958,600
医 業 外 費 用	408,947,135	4.5	14,600,115	3.4	423,547,250	4.5	422,764,910	4.5	782,340
支払利息及び企業債取扱諸費	50,391,388	0.6	95,608	0.0	50,486,996	0.5	56,684,599	0.6	△ 6,197,603
保育施設費	44,726,673	0.5	0	—	44,726,673	0.5	43,204,710	0.5	1,521,963
雑支出	313,829,074	3.5	14,504,507	3.4	328,333,581	3.5	322,875,601	3.4	5,457,980
経 常 損 失	79,168,437	/	△ 7,447,649	/	71,720,788	/	20,873,695	/	50,847,093
特 別 利 益	73,334,419	0.8	0	—	73,334,419	0.8	104,944,403	1.1	△ 31,609,984
過年度損益修正益	67,922,509	0.8	0	—	67,922,509	0.7	39,611,519	0.4	28,310,990
その他特別利益	5,411,910	0.1	0	—	5,411,910	0.1	65,332,884	0.7	△ 59,920,974
特 別 損 失	18,542,481	0.2	0	—	18,542,481	0.2	76,089,853	0.8	△ 57,547,372
過年度損益修正損	18,542,481	0.2	0	—	18,542,481	0.2	76,089,853	0.8	△ 57,547,372
その他特別損失	0	—	0	—	0	—	0	—	0
当 年 度 純 利 益		/	7,447,649	/		/	7,980,855	/	
当 年 度 純 損 失	24,376,499	/		/	16,928,850	/		/	24,909,705

別表 (4)

キャッシュ・フロー計算書内訳

(単位：円)

	元年度		30年度		対前年度増減額	
	市立総合病院	東 病 院	市立総合病院	東 病 院	市立総合病院	東 病 院
(1)業務活動によるキャッシュ・フロー						
当期純利益	△ 24,376,499	7,447,649	7,941,091	39,764	△ 32,317,590	7,407,885
減価償却費	563,613,755	35,094,241	500,860,443	29,881,985	62,753,312	5,212,256
長期前受金戻入額	△ 48,280,274	△ 8,888,821	△ 55,235,981	△ 8,891,714	6,955,707	2,893
支払利息及び企業債取扱諸費	50,391,388	95,608	56,576,188	108,411	△ 6,184,800	△ 12,803
固定資産除却損	624,408	0	45,288,376	0	△ 44,663,968	0
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0
その他非資金項目の調製	20,400,238	0	16,622,593	0	3,777,645	0
未収金の増減額 (△は増加)	△ 101,351,515	60,120,703	44,806,026	△ 40,482,221	△ 146,157,541	100,602,924
未払金の増減額 (△は減少)	4,017,464	△ 189,136	△ 8,850,892	408,800	12,868,356	△ 597,936
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△ 5,152	0	△ 345,668	0	340,516	0
引当金の増減額 (△は減少)	△ 8,454,900	0	△ 52,410,806	0	43,955,906	0
預り金の増減額 (△は減少)	△ 70,257,575	0	73,613,062	0	△ 143,870,637	0
その他資産負債の増減額	0	0	0	0	0	0
小計	386,321,338	93,680,244	628,864,432	△ 18,934,975	△ 242,543,094	112,615,219
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 50,391,388	△ 95,608	△ 56,576,188	△ 108,411	6,184,800	12,803
業務活動によるキャッシュ・フロー	335,929,950	93,584,636	572,288,244	△ 19,043,386	△ 236,358,294	112,628,022
(2)投資活動によるキャッシュ・フロー						
固定資産の取得による支出	△ 700,191,356	△ 17,100,000	△ 82,891,903	△ 32,875,018	△ 617,299,453	15,775,018
固定資産の売却による収入	0	0	0	0	0	0
寄附金の受入	327,390	0	2,800,000	0	△ 2,472,610	0
他会計負担金の受入	20,000,000	0	20,000,000	0	0	0
国庫・道補助金の受入	0	0	1,000,000	0	△ 1,000,000	0
修学資金貸付による支出	△ 45,450,000	0	△ 44,500,000	0	△ 950,000	0
修学資金貸付返還金による収入	11,845,000	0	9,380,000	0	2,465,000	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 713,468,966	△ 17,100,000	△ 94,211,903	△ 32,875,018	△ 619,257,063	15,775,018
(3)財務活動によるキャッシュ・フロー						
一時借入金による収入	700,000,000	0	200,000,000	0	500,000,000	0
一時借入金の返済による支出	△ 400,000,000	0	△ 500,000,000	0	100,000,000	0
企業債による収入	227,900,000	9,700,000	588,000,000	22,100,000	△ 360,100,000	△ 12,400,000
企業債の償還による支出	△ 855,523,977	△ 24,985,336	△ 791,538,444	△ 14,948,501	△ 63,985,533	△ 10,036,835
他会計からの出資による収入	400,236,000	0	411,261,000	0	△ 11,025,000	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	72,612,023	△ 15,285,336	△ 92,277,444	7,151,499	164,889,467	△ 22,436,835
資金増加額 (又は減少額)	△ 304,926,993	61,199,300	385,798,897	△ 44,766,905	△ 690,725,890	105,966,205
資金期首残高	513,872,677	133,307,356	128,073,780	178,074,261	385,798,897	△ 44,766,905
資金期末残高	208,945,684	194,506,656	513,872,677	133,307,356	△ 304,926,993	61,199,300

1 業務活動によるキャッシュ・フロー：通常の業務活動の実施にかかる資金の状態を表すもの

2 投資活動によるキャッシュ・フロー：将来に向けた運営基盤の確立のために行われる投資活動に係る資金の状態を表すもの

3 財務状況によるキャッシュ・フロー：業務活動及び投資活動を行うための財務活動に係る資金の状態を表すもの

経営・財務分析表

1 収益率 (収益と費用とを対比して病院事業経営の成果を表すもので、その比率は大きいほど良好である。)

(1) 総収支比率 (%)

$$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	99.75	100.08	98.93
東 病 院	101.18	100.01	102.08

期間中の事業活動全体の収益性を示す比率。

この率が100%未満であれば純損失を生じていることを示す。

(2) 経常収支比率 (%)

$$\frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	99.20	99.78	98.37
東 病 院	101.18	100.01	102.08

経常費用(医業費用+医業外費用)が経常収益(医業収益+医業外収益)によってどの程度賄われているかを示す指標。100%未満であれば経常損失が生じている。

(3) 医業収支比率 (%)

$$\frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	95.56	96.22	95.20
東 病 院	70.40	69.50	78.75

活動の収益性を表す比率。100%を超えることを理想とし、超えた分は利益のあったことを示す。

2 財務比率 (貸借対照表における資産と負債又は資本との相互関係を表すものである。)

(1) 固定比率 (%)

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	311.39	369.30	436.90
東 病 院	73.77	77.92	74.98

自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。病院事業の場合は、設備投資のための財源として企業債に依存する度合いが高いため、この比率が高くなっているが、小さいほうが望ましい。固定比率が100%を超えていても、固定長期適合率が100%を下回っていれば、長期的な資本の枠内の投資が行われており、必ずしも不健全な状態とはいえないとされる。

(2) 固定長期適合率 (%)

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	103.02	103.19	103.49
東 病 院	63.03	65.65	65.04

固定資産と長期資本のバランスを示す比率。固定資産投資の安全性をみるもの。

100%以下であることが望ましく、100%を超えると固定資産に対して過大投資が行われたものといえる。

(3) 流動比率 (%)

$$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	87.04	87.28	83.86
東 病 院	1,370.69	825.84	1,709.02

流動負債に対する支払い能力を測定する比率。(一年以内に現金化できる資産と支払わなければならない負債とを比較)流動性を確保するために流動資産が流動負債の200%以上あることが望まれるが、達しない例がほとんどである。

(4) 当座(酸性試験)比率 (%)

$$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	85.65	86.03	82.43
東 病 院	1,370.69	825.84	1,709.02

流動資産のうち現金預金と容易に現金化できる未収金が流動負債100%以上に確保されているかを示すもので、当座の支払能力の有無を判断する目安となる比率。

3 回転率、回転期間 (回転率は、企業の活動性を示すもので、これらの比率は大きいほど資本が効率的に使われていることを表すものである。)

(1) 自己資本回転率 (回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) / 2}$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	3.43	3.96	4.50
東 病 院	0.72	0.72	0.79

自己資本に対する医業収益の割合であり、期間中に自己資本の何倍の医業収益があったかを示すもの。この比率が高いほど投下資本に比して収益活動が活発であることを意味する。

(2) 固定資産回転率 (回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2}$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	1.01	0.99	0.95
東 病 院	0.95	0.94	1.09

医業収益と設備資産に投下された資本の関係で、設備利用の効率を測定するもの。回転率が高ければ、施設が有効に稼働していることを示す。

(3) 流動資産回転率 (回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	4.95	5.10	5.46
東 病 院	1.54	1.61	1.94

現金預金回転率・未収金回転率・貯蔵品回転率等を包括するものである。

回転率が高くなれば、それに応じて高くなる。

(4) 未収金回転率 (回)

$$\frac{\text{医業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) / 2}$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	6.28	6.35	6.18
東 病 院	3.72	3.80	5.61

未収金の回収速度を示す。高ければ回収が早く、未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示す。

これが6回とすれば、未収金はほぼ2ヵ月で回収されていることを示す。

(5) 当年度減価償却率 (%)

$$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	6.66	5.73	5.79
東 病 院	9.56	7.71	6.11

減価償却費を固定資産の帳簿価格と比較することにより、どのような減価償却策がとられているかを明らかにし、固定資産に投下された資本の回収状況をみるためのもの。

4 構成比率 (構成部分の全体に対する関係を表すものである。)

(1) 固定資産構成比率 (%)

$$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	83.54	82.49	85.08
東 病 院	61.25	62.69	63.66

資産合計 (固定資産+流動資産+繰延資産) の固定資産の割合を表すものである。

一般にこの比率は低い方が柔軟な経営が可能となるが、減価償却費に近い額が固定資産取得のために借り入れた企業債の償還に充てられることにより、企業内部への資金が留保される率も低く、固定資産構成比率は高くなっている。

(2) 固定負債構成比率 (%)

$$\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{資本合計}} \times 100$$

年 度	元	30	29
市立総合病院	54.26	57.60	62.73
東 病 院	14.15	15.03	12.97

総資本のうち固定負債が占める割合を示す。事業の負担構成の適正化を判断するもので、比率は小さいほど良好である。

(3) 自己資本構成比率 (%) $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$

年 度	元	30	29
市立総合病院	26.83	22.34	19.47
東 病 院	83.03	80.45	84.90

資本構成の安定度をみる指標で、総資本における自己資本の割合を示す。

施設建設費の財源の多くを企業債により調達しているため、この比率は低くなる傾向にあるが、事業経営の安定化を図るためには、この比率を高めていくことが重要である。

5 その他

(1) 累積欠損金比率 (%) $\frac{\text{累積欠損金}}{\text{医業収益}} \times 100$

年 度	元	30	29
市立総合病院	64.21	64.40	66.53
東 病 院	△ 52.22	△ 50.01	△ 45.07

実質赤字額の累積額の度合いを示す指標。

累積欠損金は営業活動において各事業年度に欠損金が生じた場合、剰余金等により補填しても充足できず翌年度以降に繰り越し、累積された欠損金である。

累積欠損金には減価償却費等の実際に現金支出がない費用も含まれるため、直接経営に必要な資金の不足を表すものではないが、経常費用の合理化により効率性を発揮し、収益性の向上を図ることが求められる。

(2) 資金不足比率 (%) $\frac{(\text{流動負債} + \text{建設改良等以外の経費の財源に充てるために起こした地方債の現在高} - \text{流動資産}) - \text{解消可能資金不足額}}{\text{事業規模 (医業収益} - \text{受託工事収益)}} \times 100$

年 度	元	30	29
市立総合病院	△ 5.82	△ 5.11	△ 4.09
東 病 院	△ 64.75	△ 61.98	△ 53.95

資金不足額を事業規模で除した割合であり、経営状態の悪化の度合いを示すもの。

この比率が経営健全化基準である20%以上になると経営健全化計画を定めなければならない。

市立総合病院の資金不足比率は△5.82%、東病院の資金不足比率は△64.75%となり、ともに資金不足は発生していない。